

第39回 入学式

平成26年4月7日、第39回入学式を執り行いました。今年度、関東校では241名、ホンダ学園としては485名の若さ溢れる新入生を迎え入れることができました。

山田校長は式辞の中で、入学のお祝いを述べるとともに、「建学の精神」について触れながら「夢」と「目標」を持つことの大切さをお話されました。



お祝いの言葉

新入生の皆さん、本日は入学おめでとうございます。新入生の皆さんを支え、見守ってこられた、ご家族の皆さん、心よりお祝い申し上げます。今年度は、241名の若さ溢れる新入生を迎えることが出来ました。これもひとえに、日頃より当学園の教育活動にご理解とご協力を頂いている皆様のおかげと、心より厚く御礼を申し上げます。

や目標が定まっていけない方もいると思います。是非、早く、夢や目標を見つけ、早く、次の夢や目標を見つけて下さい。何故かと言えば、例えば、ただ歩いていただけでは、エベレストの山頂に立つことは出来ません。頂上に立つという明確な夢、目標が無ければ、高みに立つことは出来ないのです。まさに「パワーオプドリームス」なのです。夢を見つける方法はそんなに難しいことではありません。まずは、やるべき



歓迎の言葉述べる一級自動車整備研究科4年 高梨達太郎さん



誓いの言葉を述べる新入生代表自動車整備科 佐藤弘基さん



本田技研工業(株)取締役専務執行役員 山本芳春様よりご祝辞を賜りました。

ことをやることです。つまり学園での勉強やクラブ活動、レース観戦など、積極的に参加し、行う事で、皆さんのやれること、出来ることが増えていきます。そうすると、皆さんが本当にやりたいこと、なりたいこと、つまり夢、目標が見えてきます。

これらの夢、目標を実現させる為、前向きに、やる気を出して、青春を謳歌し、若さ溢れる充実した学園生活を送ってください。ホンダ学園は、多くの機会を提供します。また自主、自立の精神を育てるべく皆さんに自律的に動いて貰うようにします。知識や技術、資格の取得のみでなく、大きな人間の成長や、社会人となつてからも付き合い合える良い友達を得ることなど、他では味わえない、数多くの感動や経験をチャレンジ精神で、自ら勝ち取ってください。

ホンダ学園はあらゆる面で皆さんをバックアップ致します。

以上で私の話を終わりますが、最後に、学園の教職員を代表し、歓迎の言葉を贈ります。入学を心より歓迎します。入学おめでとう。

※校長式辞「夢の話」より一部抜粋

平成26年 4月9~11日 新入生校外研修



静岡県伊東市にある宿泊施設「ホテルラヴィエ川良」にて新入生校外研修を行いました。新入生の皆さんが、1日も早く学園生活に慣れるよう、学生生活に関する基本的な情報を伝え、また先生方との相互信頼関係を築く「きつかけ」を作ることを目的に毎年実施している研修です。

研修はクラス別のホームルームから始まり、学生と教員が交流を図ることのできる、いくつかのカリキュラムを実施していきます。中でも、クラスに一体感を持たせることを目的とした「インプロ」と呼ばれるカリキュラムは、新入生の皆さんの不安や緊張を払拭する為に、大きな役割を果たしたと思います。インプロでは、自分で自分のニックネームを考えクラスメイト同士



で挨拶を交わしたり、グループで一筆書きの旗を順番に書いたり、とても単純な作業を積み重ねていくのですが、小さなところで芽生えた一体感が、やがてグループやクラス全体へと広がっていきました。研修地へ向かう車中の様子とは異なり、学生の皆さんの表情は和らぎ笑顔も目立つようになりました。

研修が始まったのは入学式を終えてまだ2日後。クラスメイトの顔も名前もよく分からない中、宿泊を伴う研修に不安を感じる学生も多かったと思いますが、連帯感や一体感が芽生え、有意義な研修となりました。皆さん最後までよくがんばりました。



安全運転講習

ホンダグループの「交通安全センター」レーンボートで、安全運転講習を実施いたしました。自動車業界の一員となる新入生の皆さんに、安全運転を学んでいただく為、毎年4月に実施しています。バイク通学や休日のドライブなど、運転をする機会が増えていく新入生の皆さんですが、講習で学んだことを忘れず、安全運転を心がけ、無事故・無違反を目指しましょう。




ホンダ学園 学生紹介制度はじめました
クルマやバイクに興味があり、ホンダ学園への入学を希望する方をご紹介ください。詳細は事務学生部 学生課までお問い合わせください。
☎0120-44-1372



3月14日、川越プリンスホテルにて第37回 卒業式を執り行いました。
今年度、一級自動車整備研究科33名、自動車整備科128名、国際自動車整備科6名、
自動車開発エンジニア科41名、合計208名が卒業いたしました。

第37回

卒業式



校長祝辞

卒業生の皆さん、本日は卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、ご子弟の門出の日を迎えられ、心からお喜びを申し上げます。また、ご来賓の皆様、後援会役員の皆様には、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

本日でたく208名の学生諸君が卒業式を迎え、社会に巣立っていきます。今までご両親の庇護のもとに生きてきた人生、先生方に教えを受けてきた人生に別れを告げ、明日からは自分の足で歩き出すことになるわけですが、皆さんは、ホンダ学園で、多くを学び、多くを経験してきました。そしてすでに社会に飛び出すために十分な知識と人間的基礎を身につけています。



1つ目は、周りの人たちに對して一杯の誠意をもって接するということです。2つ目は、自分が選んだ仕事の素晴らしさを信じ、夢に向かって行動し続けること、夢に向かうこと、君たちの中には、まだ自分が目指す具体的な目標が見いだせないでいる人もいるでしょう。でも自分が選んだ仕事の価値を信じ、自分の可能性を信じて果敢に行動し続けられれば、必ずや、その中から目指すべき目標が持てるようになります。

二つ目のことを言いましたが、自分の仕事に夢を持ち、職場の人達やお客様との信頼関係の中で仕事を実践していけば、将来きっと素晴らしい経験が待っています。努力すれば、それまで想像もなかった大きな力を発揮でき、大きな喜びにつながると思います。仕事を通じて得られる達成感、そして人との絆こそは、人生の本当の財産といえるのです。

いま自動車業界は変革のうねりの只中にいます。環境問題への対応技術や交通安全の高度化技術などは、クルマの姿を変えてしまふほどに進化しつつあります。同時に、人々がそれを安心して使えるためには、ますます確かな整備技術が求められてきています。こういう時代こそ、社会は君たちのような若く情熱にあふれた力を待ち望んでいます。君たちが大いに活躍してくれることを切に期待しています。

いつの日にか、君たちと同じ技術者同士として語り合えることを楽しみにしつつ、これで私の贈る言葉とさせていただきます。本日は本当におめでとう。

国際自動車整備科 オーストラリア・ニュージーランド研修へ出発

3月16・18日、国際科のオーストラリア組3名とニュージーランド組6名が、9ヶ月間の海外就労研修に向けて成田空港を出発しました。今年からオーストラリア研修も国際科から参加することになり、昨年4月に入学して以来、ずっと同じ勉強を続けてきたクラスメイト同士が互いに2600km離れた両国で自分の目標達成に向けてチャレンジしていきます。

去年も一昨年もその前も、先輩達はみんな遅く成長して日本に帰国しました。研修成果発表会では、仕事を通して果敢に挑戦したその成果や、様々な苦労話が発表されています。自然豊かでフレンドリーなおセアニアの国で、この9人がどのくらい成長して帰ってくるか、今からとても楽しみです。

尚、彼らの活躍の様子は学園ホームページで見ることが出来ます。是非応援をよろしくお願いします。



自動車開発エンジニア科 卒業製作発表会

卒業式を翌週に控えた3月5日、6日、自動車開発エンジニア科で平成25年度卒業製作発表会が行われました。開発科2年生がグループ毎にモノづくりを行い、その成果物を発表する場なのですが、発表会を迎えるまでの道のりは長く約1年の月日を費やします。

学生の皆さんは卒業製作を通じて、本田技術研究所の開発工程と同じように、企画・設計・開発・試作・発表というモノづくり工程をチームで進めていくことになりました。文字通りの「実践体験」によって、1年を通じた皆さんの失敗を経験することになります。初めてのことでばかりで、思うように進められないことがたくさんあったと思いますが、ようやく迎えることのできた発表会は、学生の皆さんにとって特別な日でもあります。



卒業製作発表会の2日目。製品デモンストレーションの様子。

- 《平成25年度 卒業製作》
- 20代女性向けバイクの製作
 - リバース(前2輪)トライクの製作
 - ジャイロキャンビのEV化
 - エタノールで動く原動機付き自転車の研究
 - モータの駆動配分で曲がる車の製作
 - 風洞設備の改善



ジャイロキャンビのEV化
ガソリン車と同じ使い勝手を目指しました。

国家一級・二級 自動車整備士試験

一級・二級ともに
100%合格を達成しました!



20代女性向けバイクの製作
デザインと機能性を兼ね備えた、少し新しい女性のためのバイク。スマートフォンでイグニッションをオンに。デザイン性を損なわないマフラーなども特長。